

# 《 クラス別自己チェック評価 まとめ 》

認定こども園 白銀台保育園

## 令和 5年度の評価点

### 【 つくし組(0歳児) 】

- ・ スキンシップをとり、子ども達が安心して過ごせるように職員間のコミュニケーションをとりながら活動がスムーズにできるように心掛けた。
- ・ 子どもの目線に合わせて接するように心掛けた。
- ・ 個々に進める離乳食では、園・家庭・栄養士とで連携をとりながら進めることができた。
- ・ チームワークよく保育がすすめられるように、互いに声を掛け合いながら臨機応変に補いあうように努めた。
- ・ 子どもたちの心に寄り添いながら、言葉かけをするように心掛けた。
- ・ 遊具等の消毒をさらに徹底し、安全に元気で過ごせる環境を整えることができた。細かく担当を決めたことでよりスムーズに進めた。
- ・ 複数担任で情報共有や伝達ミスのないように徹底した。また、疑問に思った事や不明な点があった時は、その都度確認し合えた。
- ・ 検温や午睡チェック忘れがないように、声を掛け合った。

## 次年度への課題・改善点

- ・ 引き続き連絡を徹底し、伝達ミスがないようにする。職員間で情報を共有する、
- ・ 保護者とのコミュニケーションを密にし、できるだけ保護者の気持ちに寄り添うよう心掛ける。
- ・ 0才児は、月齢の幅が大きくて、なかなかその月齢に合わせた保育が難しかったので、他のクラスの職員と話し合いながら、遊びの幅を少しでも広げる工夫をする。
- ・ 一人ひとり個々の成長に合わせた対応、接し方、言葉かけをしていく。
- ・ 職員間の申し送りが乏しく感じられた事もあったので、短時間パート等全職員にきちんと情報共有するようにする。(遅・早で以上児の職員も係る事があるので)
- ・ 保育者自身も健康管理に努める。(無理してかえって迷惑を掛ける場合もある)
- ・ 子ども一人ひとりの個性に合わせた言葉かけをし、子どもの長所を伸ばせるようにしていきたい。
- ・ 小さなケガなどでも、きちんと説明できるように、見ていなかったなどないよう常に目を配り職員同士の立ち位置などにも配慮する。

## 令和5年度の評価点

### 【つくし組(1歳児)】

- ・ 月齢や育ちによって差があったので、個々に合わせた保育や関わりを心掛けた。
- ・ 気になる子への対応の仕方を担任同士で話し合い、個々に合わせた対応ができた。
- ・ 信頼関係を築き安心して過ごせるよう、スキンシップをとることを意識して保育した。
- ・ お部屋の遊具等の消毒・換気を徹底し感染予防に努めた。
- ・ 子どもの個性に合わせた言葉かけをすることで、子どもの長所を伸ばす事ができた。
- ・ 0才児と一緒に過ごすことが多く、1才児のみの活動が少なく感じられた。もっと、計画的に活動できるような工夫が足りなかった。
- ・ 子どもの発達や行動に合わせて、こまめに環境構成を変更していく大切さを感じた。
- ・ 大きなケガなく楽しく過ごすことができた。
- ・ 子ども達の成長した部分、また難しかった事などを伝え合い一人ひとりの理解につながった。
- ・ 異年齢児との関わりが少なく感じられた。

## 次年度への課題・改善点

- ・ 子どもに寄り添い、子どもへの言葉かけを大切にしていく。
- ・ 職員間で積極的にコミュニケーションをとり、複数担任が情報共有する。
- ・ 三ーティンを細めに行い、いろいろな事を相談しながら、良い保育につなげていく。
- ・ 個々のちょっとした気づきや発見など、保護者に伝える事でコミュニケーションを深める。
- ・ 引き続きコロナ感染予防対策を徹底し、遊具消毒やこまめな換気に気を配る。
- ・ それぞれの年齢や月齢の子どもの姿や成長過程を学び日々の保育を見直す。
- ・ 保育者自身の体調管理に気を付ける。
- ・ 気になる子への支援の仕方を共通理解していく。
- ・ 大きなトラブルやケガにつながる前にその都度環境を整えていく。

## 令和5年度の評価点

### 【 すみれ組(2歳児) 】

- ・ 個性を大事にしながら、一人ひとりに合わせた保育を行うことができた。
- ・ 担任間で子どもの育ちについて、常に話し合い報告・連絡・相談をしながら、共通認識しながら保育をすることができた。
- ・ 環境構成を整えることが難しく感じられることもあったが、未満児組リーダーとして積極的に行事を引っ張っていくことができた。
- ・ 保護者とのコミュニケーションまた信頼関係を築く難しさを感じた。連絡帳でのやり取りも大切だが、大事なことは直接口頭で伝えるべきだと感じた。
- ・ 感染予防対策として、遊具消毒・換気を徹底した。
- ・ 保護者との情報交換を行いながら、保育を進めることができた。
- ・ 子どもの興味や関心のあることの保育への取り入れが難しかった。

## 次年度への課題・改善点

- ・ 保護者の気持ちに寄り添い、理解し信頼関係を築く。その為にも、登降園時の時など、積極的に保護者とコミュニケーションをとるように心掛けるようにする。
- ・ 個々の健康面や情緒面を把握して常に話し合い、一人ひとりに合わせた丁寧な保育を目指し成長を見守る。
- ・ 一人ひとりの子の思いを受け止めるためにも、職員間で共通理解をしていくことが大切だと感じた。常に話し合いの場を設ける。
- ・ 環境構成や遊び等、子どもの発達に応じて工夫していけるようにする。
- ・ 進級に向けて、常に以上児職員との連携を密にして、スムーズに進級できるように努める。
- ・ 自分でできる、自分でやろうとする気持ちを大事に受け止め、見守り・励まし必要に応じて援助していく。
- ・ 噛みつき・けんか等の場面でケガにつながらないように、事故防止に努める。
- ・ 引き続き、遊具の消毒・こまめな換気に努める。

## 令和5年度の評価点

### 【 以上児組（3・4・5歳児） 】

- ・ 人数が多いクラスだったが、行事では団結し目標に向かって努力する意欲を持たせることができた。
- ・ 苦手な保護者にも積極的に声掛けをし、話を十分に聞き信頼関係を構築できるように努力した。
- ・ 以上児3クラスの担任同士が十分に意見交換・情報交換して取り組むことができた。また、行事に向けて、先を見越した計画をたてて取り組むように努めた。
- ・ 子ども達と十分な信頼関係を築くことができ、大きな行事も保育者自身もいっしょに楽しむことができた。
- ・ コーナー遊びの環境作りを行い、子ども達が自ら遊びだし片付けができるように考えていきたい。
- ・ 気になる子への対応が十分ではなかった。 集団行動が苦手な子に対して、どう係るべきか難しかった。
- ・ コロナも5類移行となり、保護者も園内に入る機会も増えるので笑顔を絶やさないう心掛けた。
- ・ 落ち着いた環境の中で子ども達と向き合い、のびのびと活動出来た。
- ・ 気になる子の保護者に対し、送迎時に園での様子、家庭での様子を伝え合い、少しでも理解してもらえるように努力した。
- ・ 小人数のクラスなので、一人ひとりの特徴をしっかりとみて、その子にあった対応ができた。
- ・ 異年齢での活動が少なかったように感じられた。
- ・ 行事では、早めに準備を行うことで、余裕をもって取り組むことができ、子ども達も楽しく自信をもって発表することができた。
- ・ コロナ対策として、手洗い・うがい・遊具消毒をより徹底し、感染予防対策に心掛けた。
- ・ 行事や製作物等の進め方や分担、話し合いがその都度行い、スムーズに進めることができた。
- ・ 報連相が大事であると再確認した。

## 次年度への課題・改善点

- ・ 日々の保育に追われてしまう日もあり、丁寧に一人ひとりの対応が行えないこともあったので、見通しや余裕を持って保育するようにしていく。
- ・ 保護者と家庭と園の様子を詳しく話し合い、子どもの成長や課題を共通認識していく。
- ・ 引き続き、感染症対策をしっかりと行う。
- ・ 保護者との信頼関係をしっかりと築く。
- ・ 職員同士で十分に連携をとり、子どもや保護者の情報を共有し合う。また、職員間でも気軽に意見交換できる関係性を築く。
- ・ 環境構成・遊び・活動の内容の工夫を行い、子ども達が楽しく過ごせるようにする。
- ・ 保護者アンケートをもとに、改善しなければならない事を意識して取り組み、保護者との信頼関係を築いていく。
- ・ コロナも5類に移行になり、少しずつ以前のように行事もできるようになり、さらに保護者をもっと参加できるように行事を進めていきたい。
- ・ コーナー遊びの設定に工夫が足りなかった。コロナ禍はまだ続いている状態なので、その中でも様々な経験が出来る場を設けていきたい。
- ・ 気になる子への対応、話し合いを設ける。
- ・ 子ども達との信頼関係を築き、安心して過ごせる環境作りをする。
- ・ 子ども達が意欲をもって活動できるような取り組みを話し合いをする。  
そして、一人ひとりの個性を伸ばしていけるように努力する。また、子ども達自身が発見する力や考える力を引き出していきたい。
- ・ 職員間での申し送り、引継ぎを丁寧にしていく。報連相をしっかりと行う。
- ・ コロナも緩和され、これから意欲をもっていろいろなことにチャレンジできる環境作りを行っていきたい。
- ・ 子ども一人ひとりと向き合い、子どもの心に寄り添い、子どもへの言葉かけを大切にする。
- ・ 「思いやり」の心を持って生活できるように、心掛ける。さらに、基本的な生活習慣を見直していきたい。

## 令和5年度の評価点

### 【 子育て支援（一時預かり保育・休日保育）】

- ・ コロナ5類移行となり、里帰り出産に伴い県外からも受け入れる体制を整えた。
- ・ 休日保育も同様に、他園からも受け入れる体制を整えた。  
他園からということもあり、特に食事面に関して十分に保護者との話し合いを持ち、職員間の申し送りを密にし、情報交換しながら休日保育に携わった。

## 次年度への課題・改善点

- ・ 一時預かり・休日保育とも、できるだけ保護者のニーズに寄り添いながら、受け入れる。と同時に、感染対策もしっかりと行う。

## 令和5年度の評価点

### 【 給食 】

- ・ 給食を作るにあたって声を掛け合い、確認し合いながらスムーズに楽しく作ることができた。また、衛生面に十分気を付け常に心掛けて従事した。
- ・ 毎月3～4回、新メニューを取り入れ、いろいろな物を食べてもらえるように努力した。
- ・ 物価の高騰により、献立に影響があり変更も余儀なくされた。旬の食材や果物などとりいれる事ができない時もあった。
- ・ 食育集会では、その時にあったテーマ(マナーや行事)を伝えることができた。
- ・ 離乳食が多くてたいへんではあったが、担当職員と十分に話し合いスムーズに進めることができた。
- ・ 感染症対策をしっかりと行った。
- ・ 食育については、子ども達との関わりが少なく、食事の時間、おやつの時間にもっと子ども達の様子をみるように心掛けた方が良かったと思う。

## 次年度への課題・改善点

- ・ 離乳食の進め方をもっと勉強してアップデートしていきたい。
- ・ 引き続き、感染症対策をしっかりと行う。
- ・ 昨年同様に、食育集会について、子ども達の状況や興味、関心のあることなど情報収集しながらテーマに盛り込むようにしていきたい。もっと興味・関心を持ってもらいたい。
- ・ コロナ5類移行に伴い、クッキング等も増えてくると思うので、子ども達と楽しみながら一緒にやっていきたい。また、時間に余裕を持って取り組みたい。
- ・ 畑で育てた野菜などからクッキングを2～3回実施していきたい。また、以上児組対象にオープンクッキングをやりたい。を次年度に活かしていきたい。
- ・ 忙しい時などに、確認不足や伝達漏れがあったので、常に確認や声掛けを怠らないようにする。
- ・ 子どもの目線で楽しめる給食・行事作りに努めていきたい。また、食の大切さを伝えていきたい。
- ・ 離乳食は、担任の職員と話し合いを密にしながら、これからも進めていく。いろいろな変化が生じた時は、その都度話し合い良い解決方法を見つけ出す努力をする。
- ・ 食育集会には、担当職員から子ども様子や状況を聞き、子ども達全員が楽しめる集会にしていく。そして、大切なことは、繰り返し伝えていく。





